



平成 29 年 5 月 25 日

## 予想される巨大地震に備えた耐災のまちづくり 岡山大学環境管理センター公開講演会を開催

岡山大学環境管理センターは、6月の環境月間における公開行事として6月21日、「予想される巨大地震に備えた耐災のまちづくり」をテーマに講演会を開催します。

近い将来の発生が予想される南海地震に対して、インフラの耐震性強化や市民の避難行動の検討など、ハード面とソフト面からの検討が急がれています。これらの検討は、高度なシミュレーション技術を用いて実施可能になっています。

今回は、地震のシミュレーションや避難行動に関するシミュレーション技術を用いて耐災のまちづくりについて紹介し、さらに、災害を見据えたレジリエントな社会の構築について議論を行います。

\*レジリエンス：外力（ストレス）に対応し、回復・克服していく力という本来の意味から「防災力」という意味で使われるようになった言葉

### ■ 開催日時

平成 29 年 6 月 21 日（水）14:00～16:45

### ■ 会場

岡山大学環境理工学部棟 104 講義室

### ■ 申し込み：不要

### ■ プログラム

挨拶・趣旨説明 岡山大学環境管理センター長：西村 伸一

#### 【講師および講演タイトル】

- ・ 香川大学危機管理先端教育研究センター長：白木 渡 氏  
「南海トラフ巨大地震への備え ～レジリエントな社会の構築に向けて～」
- ・ 東京大学地震研究所：堀 宗朗 氏  
「高性能計算を使う都市丸ごと地震シミュレーション」

＜お問い合わせ先＞

岡山大学環境管理センター

（電話番号）086-251-8162